

平成30年1月29日  
愛媛大学

## 小中学生が総務省統計局から統計的考え方を学びます！ 「公的統計データ等を用いた「PPDAC」統計的な課題の解決手法」

このたび、国立研究開発法人科学技術振興機構ジュニアドクター育成塾事業として、「公的統計データ等を用いた「PPDAC」統計的な課題の解決手法」講座を開催します。

「PPDAC」とは、問題解決における各段階を Problem(問題)、Plan(調査の計画)、Data(データ)、Analysis(分析)、Conclusion(結論)に分割した考え方で、課題を解決するために統計等を利用して、現象を中立・公平にとらえ客観的な分析を行っていく手法です。

日本の将来の課題を分析し、解決方法を模索する総務省統計局と大学が一体となって次代の日本を担う理系人材を育成していきます。

子どもたちが楽しみながら学び、未来に向かって羽ばたく様子をお伝えください。

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

### 記

日 時：平成30年2月4日(日)8時30分～11時30分

タイトル：「公的統計データ等を用いた「PPDAC」統計的な課題の解決手法」

講 師：総務省統計局統計利用推進課統計情報戦略 高橋久美子課長補佐

場 所：愛媛大学教育学部2号館1階 103教室

参加者：ジュニアドクター育成塾事業受講生 36人

駐 車 場：無

※報道機関の方で、車で取材に来られる場合は、正門警備員室で会社名等をご記入の上、  
来客用駐車場をご利用ください。

#### ■プロジェクト実施の背景

\*プロジェクトの概要及び取組状況等の詳細は、添付資料をご参照ください。

※送付資料5枚(本紙を含む)

・事業概要に関して

本件に関する問い合わせ先

教育学部理科教育専修

准教授 大橋 淳史

TEL：089-927-9434

Mail：aohashi@ed.ehime-u.ac.jp

## 国立研究開発法人科学技術振興機構ジュニアドクター育成塾事業の概要

実施機関：愛媛大学をはじめとして、東京大学、筑波大学、鳴門教育大学、株式会社リバネスなど、全国で10事業体

対象年齢：小学校5年生～中学校3年生

対象人数：42名

実施対象：次代の日本を担う理系人材

支援事業体：国立研究開発法人科学技術振興機構

支援期間：5ヵ年(2017年～2022年)

支援金額：1000万円/年

### ジュニアドクター育成塾とは

科学技術イノベーションを牽引することの期待できる、突出した才能を有する小中学生を発掘し、その能力をさらに伸ばすことのできる体系的育成プランの開発を目的とした事業です。

### 本学の事業名「科学イノベーション挑戦講座」

#### 本学の特徴

##### 1 全国トップを走る実績

本学の特徴は、全国トップの実績です。ジュニアドクター育成塾事業は、同機構の次世代科学者育成プログラム事業(中学生対象、単年度、400万円)の発展版にあたります。この次世代科学者育成プログラム事業を実施機関4ヵ年、すべてで受託したのは本学のみであり、体系的育成プログラムの開発と評価において、実施主担当者が日本科学教育学会科学教育実践賞を受賞(2017年8月)し、受講生が、日本生物教育学会中高生ポスター発表優秀賞、日本化学会中国四国大会高校生ポスター発表優秀ポスター賞、日本科学教育学会第40回年会 JrSRM 最優秀賞(中学生)を受賞するなど顕著な成果をあげています。

##### 2 理系分野への幅広い興味関心を育てよう

本学の特徴は、理学、工学、農学、医学、情報、統計、社会科学など多分野を横断的に活躍できる人材を求めていることです。たとえば、ロケットが好きな子どもが目指すべき将来像はどういったものでしょうか。工学でロケットを組み立てることもできますし、物理学で軌道を計算することもできますし、化学で素材や燃料の開発をすることもできるでしょう。ロケットを計画通りに飛ばすにはプログラミングや統計の力が必要です。このように子どもたちの夢を現実にするためには幅広い領域への興味関心が必要です。

##### 3 ネット受講で時間的・距離的課題を克服

本学の特徴は、YouTubeのリアルタイム配信など、インターネットを通じた教育方法を活用している

ことです。YouTube は話題の VR 配信を取り入れ、周りを見回して他の受講生が何をしているのかを見るなど、ネットでも臨場感をもった視聴が可能です。問題になりやすい、時間的な制約、地理的な制約を超えて、学習することが可能です。ネットのみの受講ではマレーシア(日本人)からの申し込みもあります。

#### 4 えひめこども科学新聞の作成をつうじて学びを深める

本学の特徴は、学んだ内容について、子どもたちが、チーム毎に独自の紙面を作成することです。この紙面を、えひめこども科学新聞と名付けています。第1号からは SNS などでの公開と投票を行っていく予定です。

#### 5 積極的な広報活動

本学の特徴は、実施した内容を積極的に公開している点です。これまでの理系人材育成事業は、内容がクローズドであり、参加者以外には何をしているのかなどをうかがい知ることができませんでした。しかし、こうした手法では国民になぜ科学教育事業が必要なのかを知らせることができません。そこで、本事業では、Facebook, Instagram, Twitter, ニコニコ動画チャンネル, Tumblr, YouTube を通じて、活動内容を積極的に公開しています。

フェイスブック

<https://m.facebook.com/scienceinnovationehime/>

インスタ

<https://www.instagram.com/sciinvehime/?hl=ja>

ツイッター

<https://mobile.twitter.com/home>

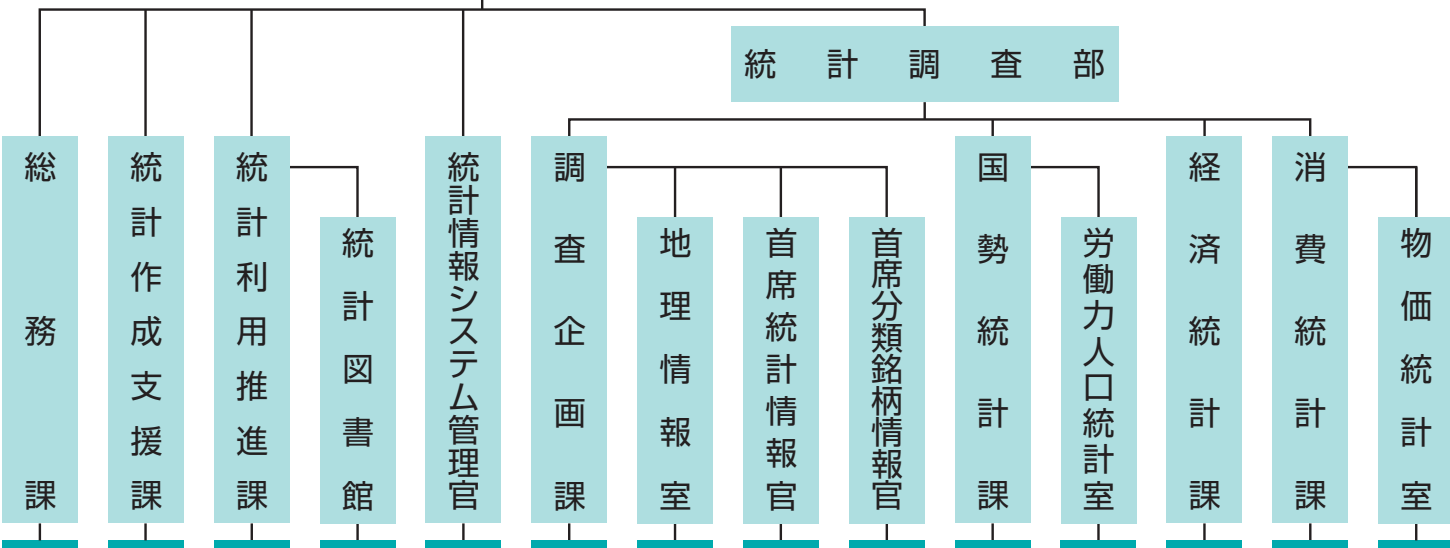
ニコニコ動画チャンネル

<http://sp.ch.nicovideo.jp/ScienceInnovationEhime>

Tumblr

<https://juniordocehime.tumblr.com/>

# 統計局



**総務課** 局の所掌事務に関する総合調整、内部管理事務など

**統計作成支援課** 事業所母集団情報の収集・提供、調査票情報の二次利用・提供、匿名データの作成・提供など

**統計利用推進課** 統計利活用の推進、図書の編集・刊行、統計局の広報など

**統計図書館** 国立国会図書館支部総務省統計図書館に関する事務

**統計情報システム管理官** 政府統計共同利用システム、統計業務基盤システムなどの情報システムの整備・管理

**調査企画課** 部の所掌事務に関する総合調整、国又は地方からの委託による統計調査の実施・製表など

**地理情報室** 地理情報の整備・利用、地域メッシュ統計の作成

**首席統計情報官** 統計調査の製表に係る情報処理に関する企画・立案など

**首席分類銘柄情報官** 統計調査に用いる分類の適用に関する専門的事項の企画・立案及び調整など

**国勢統計課** 「国勢調査」及び「住宅・土地統計調査」の企画・立案及び実施、「人口推計」及び「住民基本台帳人口移動報告」の作成

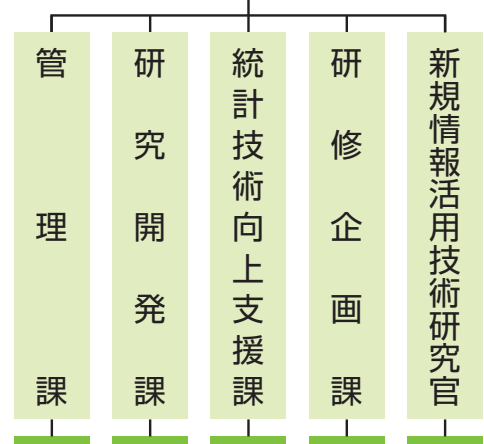
**労働力人口統計室** 「労働力調査」、「就業構造基本調査」及び「社会生活基本調査」の企画・立案及び実施

**経済統計課** 「経済センサス」、「個人企業経済調査」、「科学技術研究調査」及び「サービス産業動向調査」の企画・立案及び実施

**消費統計課** 「家計調査」、「全国消費実態調査」及び「家計消費状況調査」の企画・立案及び実施

**物価統計室** 「小売物価統計調査」の企画・立案及び実施、「消費者物価指数」の作成

# 統計研究研修所



**管理課** 所の所掌事務に関する総合調整、内部管理事務など

**研究開発課** 統計技術の研究

**統計技術向上支援課** 統計技術の向上に係る情報の収集・提供、関係行政機関との連絡調整など

**研修企画課** 統計研修の企画及び実施、各府省のデータサイエンティスト育成の企画

**新規情報活用技術研究官** 統計作成に必要な情報、行政記録情報その他の情報の効果的な活用に関する技術の調査・研究など

# 総務省統計利用推進課について

## 1 概要

統計利用推進課は、統計利活用の推進を本務とする組織であり、その活動の一環として、子供向けのプログラミングで統計データを活用するイベントなどを実施されています。

総務省のサイト(<http://www.stat.go.jp/index.htm>)では統計学習サイトである、なるほど統計学園、なるほど統計学園高等部などの学習サイトの他に、先生向けの指導案や生徒のための統計活用などのコンテンツ提供をされています。

また、大人向けの統計力向上サイトとしてデータサイエンス・スクールというコンテンツも作成されています。

このように、統計利活用に向けた情報提供を主として行われている部局です。

## 2 機会の希少性

統計利用推進課は、さまざまな催しを開催しておりますが、原則として東京近郊が対象となっており、地方では開催されてきませんでした。また、都道府県の書く統計主管課が統計学習サイトを構築していますが、愛媛県では学習サイトも提供されておらず、愛媛県は統計学習の空白地帯でした。今回、本事業のために、東京から担当者が来松して講座を実施されるのは大変貴重な機会です。

## 3 リケジョの来松

実施を担当されるのは、統計情報戦略担当の高橋久美子課長補佐であり、数学を駆使する理系職にも女性職員が活躍されていることを示す機会にもなるかと存じます。